

救すると能はざ、唯今彼を打果さん」と。

二 牧師之に答へて、「惡を以て惡を報ふるは、基督教徒の爲すべき所は非ざ、報を爲すはたゞ神の爲す所あり」と、懇々説諭すれども、少しも聞入るゝ色なし

三 牧師ハ「然らば、御身ハ諫言ハ無用あり、されども今別れハ臨み共ニ祈禱すべし、然る後御身の望む所を爲すべし」とて、直ちニ祈り初めたり、

四 牧師ハ「全能の主よ、此青年を憐み玉へ、彼れ今其仇を報いんと決心し、その手を以て、之を討果さん」とす、願くハ彼の安全からんため、無法ある心を靜

め玉へ」と、云ふや否、青年俄かニ呼りて、「待ち玉へ、暫く待ち玉へ、我斯様なる祈禱を思ひ付かざりし我今其無法を思ひ留りたり」と云ひ、

五 直ちニ語を續ぎ、「願くハ神よとが大罪を救し玉へ願くハわが心ニ打勝つとを得させ玉へ、願くハ仇を報ふるを、爾の手ニ任せ玉へ、キリストの聖名ニ因て、この祈禱を聽玉へアーメン」とぞ祈りたり、

殘忍？ 牧師？ 全能？

一 モーゼ、イブラエルの全族を率ひ、カナンへ近づきたる時、豫め其地の模様を知らんがため、十二人の者を撰みて遣はしたり、

二 彼等四十日の間内地に入り、種々探索せしよ、國中到る處地味肥へ、果物豊かよして、殊よ葡萄の如きハ、二人よて一房を擔ふほどありしと云ふ、

三 然るよ其人々ハ、カナンの城郭の堅固よして、其住民の強健あるを見、神の力を信任するとも忘れ

て、失望落膽し居たり、

四 中よたゞカレブとヨシユアの二人ハ、正義勇敢の



人物よて、只管ら神の力よ信頼し、如何よ堅固の城郭たりとも、如何よ勇猛の人民たりとも、たゞ一押し進入らんものと勇み居たり、

<sup>五</sup>かゝつてモーゼハ没し、之よ代りて、イブラエル人を指揮せし者ハヨシユアありき、彼れモーゼの志を継ぎ、カナンに入んと欲し、先づ其近き都エリコを取らんとして、二人の探偵を遣したり、

六此者等街に入るや、早くも市民等の探知する所をかりて、之を捕へんとせり、二人の者暗夜よ紛れ、或家よ入りて、自分等を隠さんと願へり、此家ハ

ラハブといへる、婦人の住家よして、此婦ハ早くよ  
り、エホバの神の全能にして、敵し難きを知りたる  
者ありければ、此二人の者を助くるの心起りたるを  
り、彼暫時二人を隠せし後、窓より繩にて釣下し、  
市の外へ逃げしめたり、故よヨシエアハエリユを攻  
取りし後、彼の實意ありしを賞して、ラハブの一族  
を助けたりと云ふ、

葡萄？ 城郭？ 勇敢？ エリユ？ ラハブ？

安息學校讀本卷之四 終

版權登錄

明治廿三年六月六日印刷  
同 六月九日出版

(定價十七錢)

撰者

本間重慶

大阪市北濱二丁目  
三十六番屋敷寄留

發行兼  
印刷者

今村謙吉

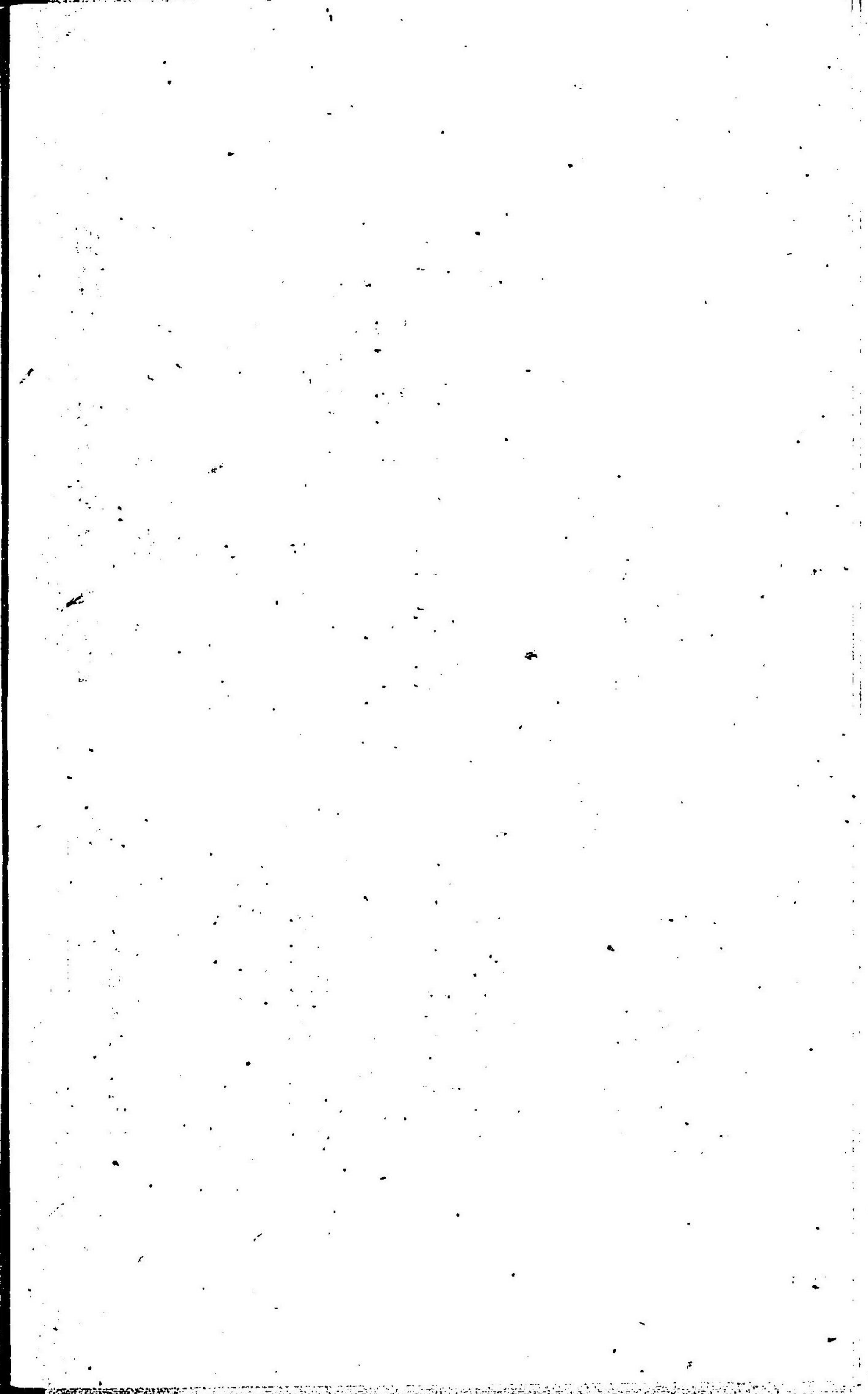
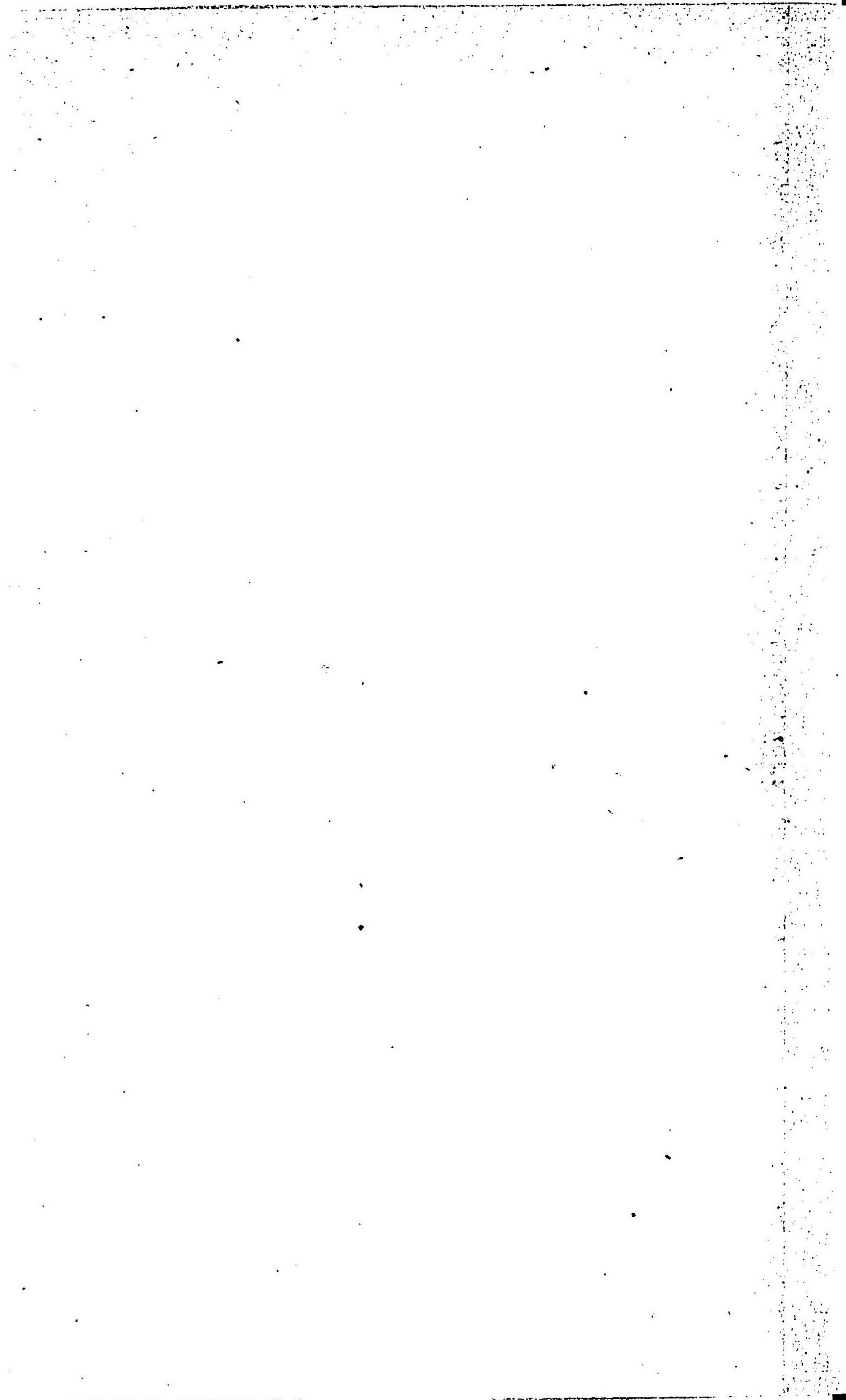
大阪市土佐堀三丁目  
三十八番屋敷

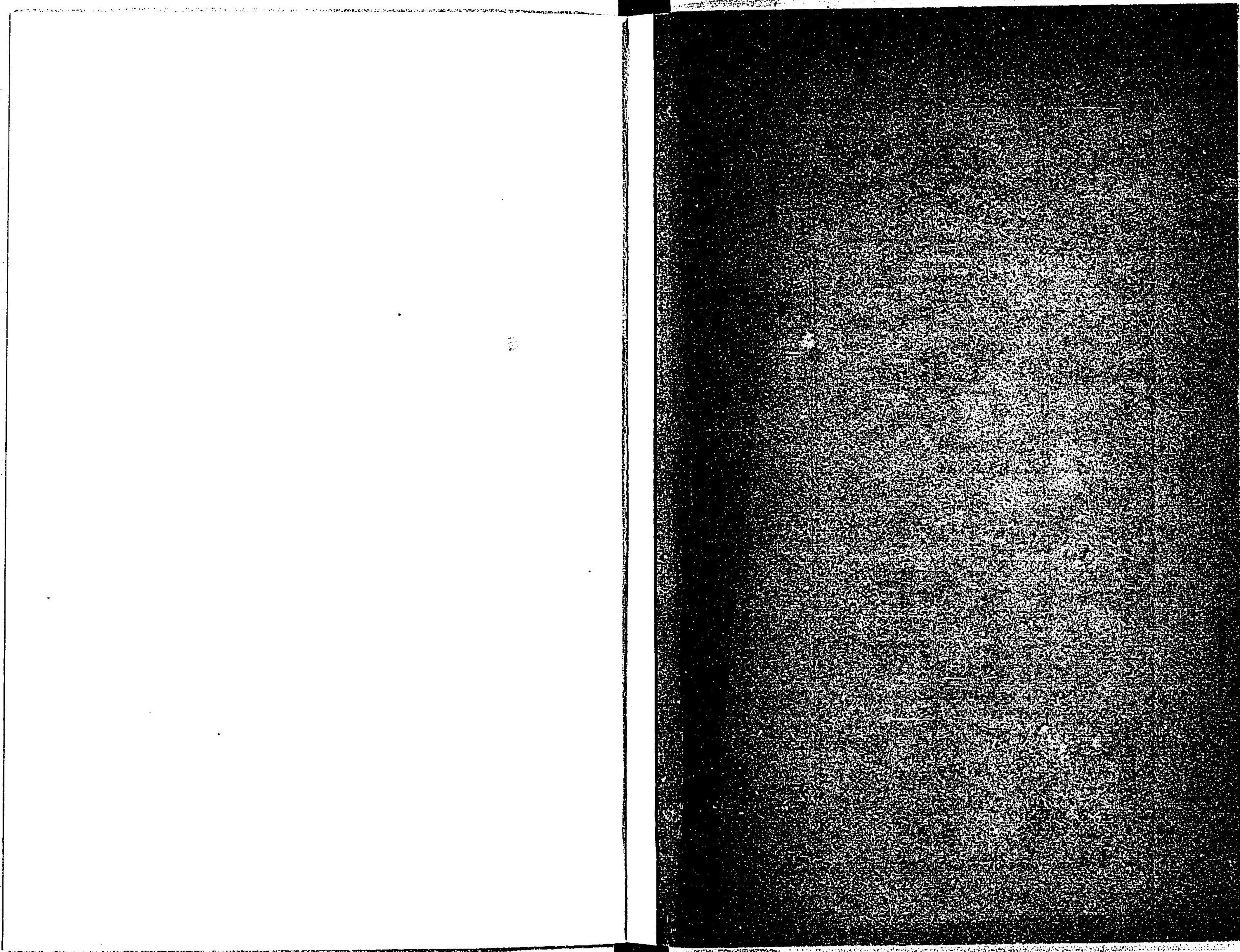


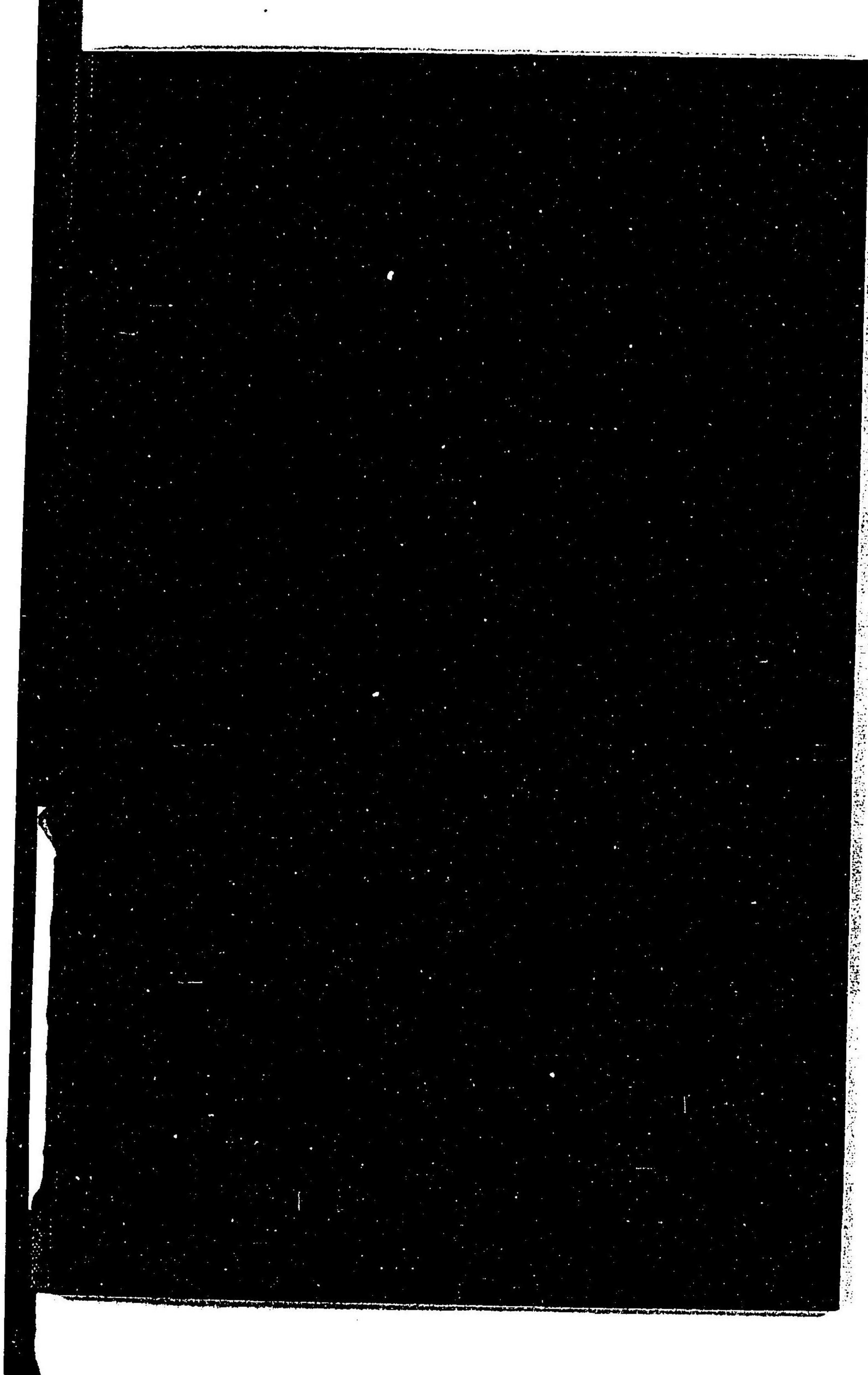
印刷所

福音社

大阪市土佐堀三丁目  
三十八番屋敷







特18

714

安息学校読本

4

国立国会図書館